

現在の医療の在り方を大きく変え得る取組として、多種多様な医療スタッフが、各々の高い専門性を前提とし、目的と情報を共有し、業務を分担するとともに互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供する「チーム医療」に注目が集まっている。現に、様々な医療現場で「チーム医療」の実践が広まりつつあるなかで厚生労働省では、「チーム医療」を推進する観点から、平成22年4月30日医政発0430第1号厚生労働省医政局長通知「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」を発出した。注意点として、各医療機関においてチーム医療の検討を進めるに当たっては、通知のとおり、まずは当該医療機関における実情（医療スタッフの役割分担の現状や業務量、知識・技能等）を十分に把握し、各業務における管理者及び担当者間における責任の所在を明確化した上で、安心・安全な医療を提供するために必要な具体的な連携・協力方法を決定し、医療スタッフの協働・連携によるチーム医療を進めることとし、質の高い医療の実現はもとより、快適な職場環境の形成や効率的な業務運営の実施に努められたいとしている。加えて、医療機関のみならず、各医療スタッフの養成機関、職能団体、各種学会等においても、チーム医療の実現の前提となる各医療スタッフの知識・技術の向上、複数の職種の連携に関する教育・啓発の推進等の取組が積極的に進められることが望まれるとしている。職能団体である当会も例外なく積極的な取り組みが求められている。

次に大きな流れとして、団塊の世代が75歳以上となる2025年には高齢患者が激増し、医療費は現在の1.5倍、介護費は2.4倍になるとされるいわゆる2025年問題がある。社会保障のヤマ場ともいべきこの問題を乗り越えるため、政府は在宅での医療・介護の推進を打ち出している。急性期から回復期を経て慢性期への流れをスムーズにし、訪問サービスを充実させ、老後は自宅などで暮らすよう構想している。この構想の実現のため政府は都道府県ごとの病床機能の再編、地域包括ケアシステムの構築を急いでいる。従って医療機関が在宅医療に関わることは自然で有り、それに続く人口減少問題の解決策として医療機関を中心とした街づくりなども考えられ、医療機関に勤務する者として目が離せない状態が続くであろうと予想される。

こうした背景のなかで、我々が対応していくためには、生涯学習や研究活動への積極的な取り組みや人材の育成が大変重要となってくる。当会は平成25年4月1日より公益社団法人に移行した。公益法人は、「学術、技芸、慈善その他の公益に関する事業であって、不特定かつ多数の者の利益増進に寄与するものをいう。」と定義されており、以前に増して社会活動（50%以上）を重視した事業展開をしていく必要がある。

平成27年度事業の骨子は「放射線技術の普及・啓発事業」「調査研究事業」「学会、その他研究事業」「関係団体と連携する事業」「情報提供事業」「メーカーとの共催事業」「その他この法人の目的を達するために必要な事業」である。当会は平成26年度より公益社団法人

日本診療放射線技師会（以下 JART という。）との間で入会の一本化並びに会費の合算請求を行っており、これまで以上に連携を図っていく所存である。また、診療放射線技師法の改正や職域の拡張のため、JART が行う生涯学習や事業を積極的に推進する所存である。医療社会の高度化、複雑化はますます進むことが予想され、安全な医療技術を提供できるよう生涯学習や社会活動を更に充実させ、専門知識のみならず医療人としての資質向上も図り、人材育成に積極的に取り組んでいく所存である。また、社会的評価や医療社会における位置付けの向上を図るための事業を積極的に展開して行く所存である。会員の皆様には、より一層のご協力とご支援をお願いいたします。

【1. 放射線技術の普及・啓発事業；公1】

1) レントゲン週間公開事業の開催；公1

医療放射線画像展2015を平成27年11月7日、アルヴェきらめき広場で開催する。

2) 相談・助言に関する事業；公1

ホームページ上に「医療被ばく相談」を設け、県民を対象とした医療被ばく相談に対応する。医療放射線画像展でも医療被ばく相談や放射線検査に関わる相談を行う。

【2. 調査・研究事業；公1】

「各施設でのAiの実態」のアンケート調査を行う。調査結果は、研修会並びに当法人のHPで公開する。

【3. 学会、その他の研修事業；公1】

1) 学術大会に関する事業；公1

第75回公益社団法人秋田県診療放射線技師会定時社員総会・特別講演会を平成27年5月23日（土）にぎわい交流館 AU（3F）多目的ホールで開催する。平成27年度公益社団法人秋田県診療放射線技師会学術大会並びに学術講演会を平成27年5月24日（土）にぎわい交流館 AU（3F）多目的ホールで開催する。平成27年度県北支部総会並びに第100回学術大会を平成28年2月20日（土）～平成28年2月21日（日）に開催する。平成27年度中央支部総会及び教育講演を平成28年2月26日（金）に開催する。平成27年度県南支部総会並びに学術大会を平成28年3月5日（土）に開催する。

2) 講演会、講習会等に関する事業；公1

診療放射線技師や医療従事者を対象に講演会や講習会及び研修会を開催し、県内3支部（県北・中央・県南）でも開催する。また、秋田県健康福祉部の補助事業として平成27年度生活習慣病検診従事者講習会を平成27年6月27日（土曜日）に開催する。講演会や講習会は、乳房撮影技術研修会；平成27年6月13日（土）・放射線安全管理セミナー；平成27年9

月19日(土)・学術研修会「頭頸部」；平成27年10月17日(土)・平成27年度マネジメント研修会；平成28年2月6日(土)・県北支部秋季ナイトセミナー；平成27年9月4日(金)・平成27年度中央支部第1回ナイトセミナー；平成27年8月28日(金)・平成27年度中央支部第2回ナイトセミナー；平成28年1月29日(金)・県南支部第1回学術研修会；平成27年6月26日(金)・県南支部第2回学術研修会；平成27年10月23日(金)を開催する他、各種セミナー・学術研修会等を開催する。

【4. 関係団体と連携する事業；公1】

1) 後援・講師派遣等の事業；公1

秋田県健康づくり審議会の消化器がん部会・肺がん等部会・乳がん部会に委員を派遣する。秋田大学次世代がん治療推進専門家養成プラン運営諮問委員会に委員を派遣する。秋田県がん診療連携協議会・検討会に検討会委員を派遣する。あけぼの会主催の母の日キャンペーン；平成27年5月10日(日)、ピンクリボンキャンペーン2015inAKITA；平成27年10月への後援、のしる産業フェア2015；平成27年10月10日(土)～10月11日に乳がん検診の受診促進や骨密度測定を通じた健康増進活動を実施する。その他関係団体の地方開催事業(秋田県核医学技術研修会・東北循環器撮影技術研究会・全国循環器撮影技術研究会・東北MR技術研究会・日本放射線技術学会救急撮影セミナー・東北放射線医療技術学術大会)等の後援を行う。

2) 日本診療放射線技師会との連携事業；公1

公益社団法人日本診療放射線技師会が主催する第31回日本診療放射線技師学術大会(京都)；平成27年11月21日(金)～23日(日)への実行委員・講師の派遣、演題発表の協力をする。各種会議へ派遣する。東北地区女性技師ワーキンググループへ委員を派遣する。その他、共催事業としてフレッシューズセミナー；平成27年4月25日(土)・業務拡大に伴う統一講習会；平成27年5月30日(土)～平成27年5月31日(日)・平成27年11月14日(土)～平成27年11月15日(日)を開催する。東北地区として放射線管理士分科会や機器管理士分科会などへ委員を派遣する。

【5. 情報提供事業；公1】

1) 機関誌の発行；公1

(1) 会紙「秋田県診療放射線技師会会誌」第52号

発行時期を1月とし、掲載内容として巻頭言、年頭の挨拶、環境・保健事業功労者表彰、医療放射線画像展報告、のしる産業フェア報告、ピンクリボン報告、研修会報告、寄稿、広場、学術部から、管理士部会から、施設紹介、新人紹介、理事会報告、学術大会プログラム、学術講演会プログラム、抄録集、その他を予定し、発行部数600部とする会誌を発行する。

(2) 情報誌秋放技ニュース「LATITUDE 40N」通巻 63

発行時期を 7 月とし、掲載内容として巻頭言、功労賞、学術功労賞、総会報告、学術大会報告、マネジメント研修会報告、母の日キャンペーン報告、研修会報告、開催案内、理事会報告、各部からの報告、会員動向、その他を予定として発行部数 600 部とする情報誌を発行する。

(3) リーフレット

「診療放射線技師とは・」 「秋田県放射線技師会とは」 「放射線への不安や疑問は？」 のリーフレットを公開講座やボランティア事業等で頒布する。

2) その他の情報提供事業；公 1

(4) ホームページの公開・運営事業

一般の方へ「秋田県放射線技師会の紹介」「医療被ばく相談」「講演会のお知らせ」「放射線技師とは」「養成校一覧」その他質問・相談に関する問い合わせに対応する。会員へ「学会・研修会」「各種技師会活動の案内及び報告」「理事会の案内や理事会議事録」等を掲載する。

【相互扶助事業；他 1】

1) 会員の福利厚生、交流と親睦、表彰に関する事業；他 1

(1) 会員の福利厚生に関する事業

・会員の慶弔

(2) 支部会員相互の交流と親睦に関する事業

・県北支部リクレーション；平成 28 年 2 月 20 日（土）、中央支部ボーリング大会；平成 27 年 10 月 9 日（金）

(3) 表彰事業

・日本診療放射線技師会 30 年表彰、日本診療放射線技師会 50 年表彰、秋田県診療放射線技師会（功労賞・学術功労賞・奨励賞）、叙勲・褒賞、平成 27 年度環境・保健事業功労者知事表彰など、表彰推薦者の依頼に対し、選定及び推薦、準備等を行う。

(4) 法人管理に関する事務処理

管理運営に関する事務処理

・会員管理、新規会員入会促進、理事会、総会の開催と議事録の作成・保管、法人としての諸手続きを實踐、刊行物の発送、事務所に備え置きする書類等の管理

財務に関すること

・財務諸表・予算書の作成、会計業務、資産管理、会費請求、税理士への相談

2) メーカーとの共催事業；他1

エーザイ株式会社と共催で、第13回秋田CTテクノロジーフォーラムを平成27年7月4日に開催する。

以上